

経営管理のプラットフォーム創出 圧倒的シェア獲得へ



MS-Japan 有本隆浩社長に聞く

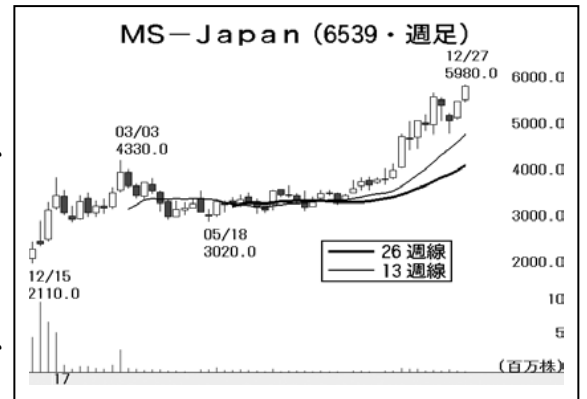
上場1年銘柄に注目

経理や財務、総務など事業会社の管理部門と、弁護士や会計士など士業向けの2領域に特化した人材紹介を行うMS-Japan(6539)。上場1年目を迎えた12月15日には、マザーズ市場から東証1部への市場変更を果たした。これまでの歩みを振り返るとともに今後の展望について、有本隆浩代表取締役社長にインタビューした。

上場1年を振り返って。採用市場の縮小からも、人材紹介市場、転職市場はまだまだ拡大していくと考え

て。『パブリックカンパニーとして社会にどう向き合っていくか、どう応えていくか』という意識が強くなった。経営姿勢も大きく変化したと思う。また、好景気という背景もあるが、新規の顧客から依頼が殺到するなど引き合いが相当強くなった。人材の獲得も順調に進み、上場のプラス効果を感じている。

現在の事業環境と御社の強みを教えてください。 「少子高齢化を背景とした新卒率40%以上と高収益性を実



現できるのは、付加価値の高いサービスを提供しているから。自己資本比率も91%

・9%と健全な財務体質を維持している」 「2015年のコーポレートガバナンス・コード(企業統治指針)の導入によって、管理部門などで実績・ノウハウを積み重ねてきた『ハイクラスシニア』のニースが一気に生まれた。当領域のシェアの大部分を当社が占めており、業界内での地位を確立している。こちらも参入障壁が高い領域で、追随する会社は

少ない」 『Manes』(マネジャー)について、現在の状況、今後のビジョンについてお聞かせください。 「人材紹介業を一段上のステージに持っていくためにスタートした事業。全国にいる350万人の管理部門、士業の領域の人材をコミュニケーションプラットフォームですべて囲い込む戦略だ。3月末のオープンから半年で登録会員数約6万人を達成しており、これが5年後、100万人を達成するようになると特定の領域で大きなシェアを持つこととなる。マネジャーの具体的な収入は広告収入で、サイト開設から半年で約50社が出稿。『通勤講座』とのコラボレーションや『キャリア・資格』の新設などさまざまなコンテンツを打ち出しているが、東証1部への市場変更を機に、今後は資本業務提携やM&A(企業合併・買収)などさら

「ほほない」

「『Manes』(マネジャー)について、現在の状況、今後のビジョンについてお聞かせください。

「人材紹介業を一段上のステージに持っていくためにスタートした事業。全国にいる350万人の管理部門、士業の領域の人材をコミュニケーションプラットフォームですべて囲い込む戦略だ。3月末のオープンから半年で登録会員数約6万人を達成しており、これが5年後、100万人を達成するようになると特定の領域で大きなシェアを持つこととなる。マネジャーの具体的な収入は広告収入で、サイト開設から半年で約50社が出稿。『通勤講座』とのコラボレーションや『キャリア・資格』の新設などさまざまなコンテンツを打ち出しているが、東証1部への市場変更を機に、今後は資本業務提携やM&A(企業合併・買収)などさら

「つく」

「『Manes』により、経営管理という領域のプラットフォームを当社が全て握っているのではないかと考えている。大きな変革進化に向けて舵(かし)を切り出しており、さまざまなビッグビジネスのマネタイズ化が見込めている。11月のビジョンとの業務提携も布石の一つ。既存の人材紹介業の成長に『Manes』効果がプラスされていくため、期待度が高い。中期的には先進国を中心とした海外展開も計画している。かなり大きなマーケットになると想定しており、人材紹介事業からマーケットイング事業に事業転換していく可能性が高い」

| | |
|------|--|
| 企業名 | MS-Japan |
| 事業概要 | 企業の管理部門および弁護士など業々、公認会計士、税理士、人材紹介インの仕業に特化した領域におけるおよび同領域におけるネットメディアの運営 |
| 上場日 | 2016/12/15 |
| 初値 | 2200円 |